



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (連結)

平成19年1月29日

上場会社名 **大同特殊鋼株式会社**

(コード番号: 5471 東、名証第1部)

(URL <http://www.daido.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小澤 正 俊
責任者役職・氏名 総務部長 野村 敏 夫

TEL: (052) 963-7501

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (内容) 特別退職金に関する会計処理 (詳細は添付資料)
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容) 連結 (新規) 1社 (㈱ライフサポート)

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	382,253	7.3	23,361	△14.5	24,787	△14.6
18年3月期第3四半期	356,268	12.9	27,322	76.5	29,037	79.4
(参考) 18年3月期	480,703		37,542		39,366	

	四半期 (当期) 純利益		1株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	14,300	△2.5	32	95		—
18年3月期第3四半期	14,664	77.3	33	78		—
(参考) 18年3月期	21,196		48	19		—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	507,352	201,116	36.1	422 50
18年3月期第3四半期	467,751	162,797	34.8	375 09
(参考) 18年3月期	476,816	172,647	36.2	397 17

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	4,605	△24,300	18,038	12,596
18年3月期第3四半期	9,080	△13,294	△935	11,174
(参考) 18年3月期	22,081	△13,579	△10,652	14,104

[参考] 平成19年3月期第3四半期の単独業績概況 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 (当期) 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	239,366	9,506	11,284	7,619
18年3月期第3四半期	219,872	13,479	14,973	12,693
(参考) 18年3月期	297,406	19,702	21,107	16,849

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当連結会計年度の第3四半期（平成18年4月1日から平成18年12月31日まで）におけるわが国経済は、緩やかに拡大を続けました。企業収益の改善により設備投資が増加し、個人消費もやや伸び悩みつつも増加基調にありました。また、内外需要の増加が続く中、生産も増加しました。

特殊鋼業界の主要需要産業である自動車は引き続き輸出が好調に推移し生産台数は前年同期を上回りました。それに伴い当社グループでも自動車関連事業を中心に堅調に推移しました。また、エンジニアリング関連の一部の製品を除き、その他の事業につきましても需要は底堅く推移し、高水準の生産が継続いたしました。

このような需要環境の中、当第3四半期の当社グループの売上高は3,822億53百万円と前年同期比259億85百万円の増収（前年同期比+7.3%）となりました。利益面では、ニッケルなどの各種金属の高騰が続き、コストダウンや販売価格改善などその対応に努めましたが、急激な高騰による悪化をカバーしきれず、経常利益は247億87百万円と前年同期比42億50百万円の減益、四半期純利益は143億円と前年同期比3億63百万円の減益となりました。

セグメント（部門）別の状況は、以下のとおりです。

特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材の主要需要分野である自動車の国内販売は前年同期に比べ減少しましたが、海外での販売好調により輸出は大幅に増加し、国内生産台数は前年同期比3%の増加となりました。その他の需要分野も産業機械、建設機械を中心に好調な需要環境が続きました。こうした環境下、自動車関連は概ね順調であったものの、工具鋼等の在庫調整を受け、売上数量は前年同期比2%の減少となりました。原材料は依然厳しい環境が続き、受注内容の見直しや販売価格改善などの活動をさらに推し進めました。その結果、当部門の売上高は2,112億32百万円、前年同期比6.4%の増加となりました。

電子・磁性材料

帯鋼製品は、液晶関連の需要増加を受け数量は増加し、原材料高騰に対し販売価格改善を進めました。磁石材料事業は、FAサーボモーター用磁石が好調に推移しました。また、薄膜・電子材料は、光学薄膜用向けが堅調に推移しました。その結果、当部門の売上高は462億33百万円、前年同期比21.3%の増加となりました。

自動車部品・産業機械部品

自動車部品関連は、熱間精密鍛造品が在庫調整等により前年同期に比べ数量は減少しましたが、販売価格改善を進めました。精密鍛造品は、欧州向けを中心に引き続き好調に推移しました。産業機械部品関連は、数量は重電、産業機械、航空機、造船関連で堅調に推移し、また高付加価値製品へのシフト、販売価格改善を推し進めました。その結果、当部門の売上高は792億83百万円、前年同期比1.7%の増加となりました。

エンジニアリング

環境設備製品は、官需の冷え込みにより低迷しました。一方、工業炉製品は、堅調な民間設備投資に牽引されSTC炉等の熱処理炉製品を中心に好調に推移しました。その結果、当部門の売上高は259億95百万円、前年同期比13.0%の増加となりました。

新素材

チタン製品は、医療用途やプラント用途を中心に引き続き堅調に推移し、また原材料高騰に対し販売価格改善を進めました。粉末製品は、自動車、産業機械関連の旺盛な需要を受け好調に推移しました。その結果、当部門の売上高は96億70百万円、前年同期比20.8%の増加となりました。

流通・サービス

子会社の建材部門で輸入材との競合激化により売上が減少しました。その結果、当部門の売上高は98億38百万円、前年同期比7.0%の減少となりました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の現金及び現金同等物は、前期末比15億7百万円減少し、125億96百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

堅調な受注環境と販売価格改善などの経営努力により税金等調整前四半期純利益は250億53百万円となりましたが、平成18年3月期1年分の法人税を当期に一括納付したことおよび運転資金が増加したことなどにより、営業活動による収入は46億5百万円にとどまりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

設備投資の拡大に伴う有形固定資産の取得増加および投資有価証券の取得増加により、投資活動による支出は243億円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

フリー・キャッシュ・フローの不足196億95百万円をコマーシャルペーパー等有利子負債の増加および現金及び現金同等物の圧縮で充当した結果、財務活動による収入は180億38百万円となりました。

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	513,000	34,600	20,300

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 46円78銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、第3四半期の業績が概ね予想どおり推移しているため、平成18年10月30日の中間決算発表時の業績予想から変更はありません。

(注) 上記の予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提、仮定に基づいております。今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますのでご了解下さい。

1. 連結財務諸表等

(1) セグメント別売上高

(単位：金額 百万円、増減率 %)

期別 セグメント別	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	前第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	率	金 額
特殊鋼鋼材	211,232	198,619	12,612	6.4	265,628
電子・磁性材料	46,233	38,113	8,119	21.3	51,696
自動車部品・ 産業機械部品	79,283	77,946	1,336	1.7	104,091
エンジニアリング	25,995	23,000	2,995	13.0	33,892
新 素 材	9,670	8,004	1,665	20.8	11,499
流通・サービス	9,838	10,582	△ 744	△7.0	13,895
計	382,253	356,268	25,985	7.3	480,703

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期	前第3四半期	増 減	前連結会計年度
	(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売 上 高	382,253	356,268	25,985	480,703
売 上 原 価	320,303	292,584	27,718	394,213
売 上 総 利 益	61,950	63,683	△ 1,732	86,490
販売費及び一般管理費	38,589	36,360	2,228	48,947
営 業 利 益	23,361	27,322	△ 3,961	37,542
営 業 外 収 益				
受取利息及び配当金	900	857	43	1,048
持分法による投資利益	2,015	1,738	277	2,330
そ の 他	1,219	1,410	△ 190	1,627
計	4,136	4,006	129	5,006
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	1,318	1,295	23	1,696
そ の 他	1,391	997	394	1,486
計	2,710	2,292	418	3,182
経 常 利 益	24,787	29,037	△ 4,250	39,366
特 別 利 益				
貸倒引当金戻入額	114	33	80	100
固定資産売却益	105	24	80	24
投資有価証券売却益	11	1,380	△ 1,368	1,656
そ の 他	67	38	29	188
計	298	1,476	△ 1,177	1,970
特 別 損 失				
減 損 損 失	29	788	△ 759	812
投資有価証券評価損	2	49	△ 46	50
特別退職金	—	1,009	△ 1,009	1,368
そ の 他	0	366	△ 365	671
計	32	2,213	△ 2,181	2,903
税金等調整前四半期 (当期)純利益	25,053	28,300	△ 3,246	38,433
法人税、住民税及び事業税	5,292	9,732	△ 4,439	15,269
法人税等調整額	3,643	2,118	1,525	△ 317
少数株主利益	1,817	1,786	31	2,285
四半期(当期)純利益	14,300	14,664	△ 363	21,196

(会計方針の変更)

 出向者の転籍に伴う特別退職金は、従来、平成18年3月までの期限付制度として特別損失にて計上しておりましたが、当該制度が期限の定めのない制度として延長されることになったため、当連結会計年度より販売費及び一般管理費として計上する方法に変更いたしました。この変更により販売費及び一般管理費が1,231百万円増加し、営業利益および経常利益はそれぞれ同額減少しております。

(3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)	前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	増 減	前第3四半期末 (平成17年12月31日現在)
(資産の部)	[507, 352]	[476, 816]	[30, 535]	[467, 751]
<u>流動資産</u>	<u>250, 830</u>	<u>237, 141</u>	<u>13, 689</u>	<u>234, 329</u>
現金及び預金	13, 510	14, 823	△ 1, 312	11, 893
受取手形及び売掛金	127, 078	120, 752	6, 326	115, 550
棚卸資産	100, 418	92, 316	8, 101	92, 543
繰延税金資産	3, 122	5, 697	△ 2, 574	3, 489
その他	7, 592	4, 523	3, 068	11, 879
貸倒引当金	△ 890	△ 971	80	△ 1, 027
<u>固定資産</u>	<u>256, 521</u>	<u>239, 674</u>	<u>16, 846</u>	<u>233, 421</u>
有形固定資産	(158, 293)	(153, 209)	(5, 083)	(150, 919)
建物及び構築物	48, 441	47, 057	1, 383	46, 232
機械装置及び運搬具	71, 047	68, 066	2, 980	66, 117
土地	30, 218	30, 043	175	30, 112
建設仮勘定	5, 006	4, 914	92	5, 494
その他	3, 578	3, 126	451	2, 961
無形固定資産	(963)	(908)	(54)	(832)
投資その他の資産	(97, 264)	(85, 556)	(11, 708)	(81, 669)
投資有価証券	80, 395	72, 221	8, 173	69, 244
長期貸付金	419	283	136	301
繰延税金資産	1, 259	1, 184	74	955
その他	15, 801	12, 511	3, 289	11, 912
貸倒引当金	△ 611	△ 645	34	△ 744
資産合計	507, 352	476, 816	30, 535	467, 751

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)	前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	増 減	前第3四半期末 (平成17年12月31日現在)
(負債の部)	[306,235]	[287,648]	[18,586]	[289,005]
流動負債	201,793	191,384	10,408	181,818
支払手形及び買掛金	84,541	77,278	7,263	77,268
短期借入金	73,155	72,216	938	65,326
一年内償還予定社債	—	—	—	3,650
未払法人税等	1,943	12,578	△10,634	7,147
賞与引当金	3,290	7,063	△ 3,773	3,302
その他	38,863	22,248	16,614	25,122
固定負債	104,442	96,264	8,177	107,187
社 債	20,700	20,700	—	20,000
長期借入金	59,665	52,470	7,195	63,627
繰延税金負債	13,243	12,042	1,200	12,704
再評価に係る繰延税金負債	1,694	1,694	—	1,694
退職給付引当金	4,202	4,312	△ 109	4,236
負ののれん	38	59	△ 21	70
その他	4,897	4,985	△ 87	4,854
(純資産の部)	[201,116]	[—]	[—]	[—]
株主資本	162,711	—	—	—
資 本 金	37,172	—	—	—
資本剰余金	28,553	—	—	—
利益剰余金	97,218	—	—	—
自己株式	△ 232	—	—	—
評価・換算差額等	20,631	—	—	—
その他有価証券評価差額金	18,735	—	—	—
繰延ヘッジ損益	7	—	—	—
土地再評価差額金	1,356	—	—	—
為替換算調整勘定	531	—	—	—
少数株主持分	17,774	—	—	—
負債純資産合計	507,352	—	—	—
(少数株主持分)	[—]	[16,520]	[—]	[15,948]
少数株主持分	—	16,520	—	15,948
(資本の部)	[—]	[172,647]	[—]	[162,797]
資 本 金	—	37,172	—	37,172
資本剰余金	—	28,548	—	28,547
利益剰余金	—	87,047	—	80,510
土地再評価差額金	—	1,356	—	1,356
その他有価証券評価差額金	—	18,548	—	15,466
為替換算調整勘定	—	152	—	△ 106
自己株式	—	△ 178	—	△ 150
負債、少数株主持分及び資本合計	—	476,816	—	467,751

(4) 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期	前連結会計年度
	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	28,541	28,541
資本剰余金増加高	6	7
自己株式処分差益	6	7
資本剰余金期末残高	28,547	28,548
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	68,638	68,638
利益剰余金増加高	14,664	21,201
四半期(当期)純利益	14,664	21,196
連結子会社と非連結子会社の 合併に伴う増加高	—	5
利益剰余金減少高	2,792	2,792
配当金	2,605	2,605
役員賞与	187	187
利益剰余金期末残高	80,510	87,047

(5) 連結株主資本等変動計算書

当第3四半期(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	37,172	28,548	87,047	△ 178	152,589
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当			△3,906		△3,906
役員賞与			△ 223		△ 223
四半期純利益			14,300		14,300
自己株式の取得				△ 62	△ 62
自己株式の処分		5		8	14
株主資本以外の項目の 第3四半期中の変動額 (純額)					
第3四半期中の変動額合計	—	5	10,170	△ 53	10,121
平成18年12月31日残高	37,172	28,553	97,218	△ 232	162,711

	評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	18,548	—	1,356	152	20,057	16,520	189,167
第3四半期中の変動額							
剰余金の配当							△3,906
役員賞与							△ 223
四半期純利益							14,300
自己株式の取得							△ 62
自己株式の処分							14
株主資本以外の項目の 第3四半期中の変動額 (純額)	187	7	—	379	573	1,253	1,827
第3四半期中の変動額合計	187	7	—	379	573	1,253	11,949
平成18年12月31日残高	18,735	7	1,356	531	20,631	17,774	201,116

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期	前第3四半期	前連結会計年度
	(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕			
税金等調整前四半期(当期)純利益	25,053	28,300	38,433
減価償却費	12,290	11,859	16,151
減損損失	29	788	812
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△ 115	141	△ 9
賞与引当金の増減額(減少:△)	△ 3,775	△ 2,301	1,456
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 109	6	82
受取利息及び受取配当金	△ 900	△ 857	△ 1,048
支払利息	1,318	1,295	1,696
為替差損益(差益:△)	△ 10	△ 113	34
負ののれん償却額	△ 21	△ 33	△ 44
持分法による投資損益(利益:△)	△ 2,015	△ 1,738	△ 2,330
投資有価証券等売却損益(売却益:△)	△ 10	△ 1,385	△ 1,662
投資有価証券等評価損	3	64	111
有形固定資産売却損益(売却益:△)	△ 106	△ 33	16
有形固定資産除却損	657	811	1,156
売上債権の増減額(増加:△)	△ 6,150	△ 5,081	△ 10,106
棚卸資産の増減額(増加:△)	△ 7,985	△ 14,396	△ 14,040
仕入債務の増減額(減少:△)	7,146	△ 404	△ 505
その他の増減額	△ 3,511	△ 1,363	△ 1,111
小 計	21,788	15,558	29,092
利息及び配当金の受取額	1,236	1,031	1,174
利息の支払額	△ 1,322	△ 1,217	△ 1,706
法人税等の支払額	△ 17,097	△ 6,292	△ 6,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,605	9,080	22,081
〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕			
定期預金の預入による支出	△ 800	△ 357	△ 357
定期預金の払戻による収入	600	235	246
有形固定資産の取得による支出	△ 17,496	△ 11,359	△ 18,143
有形固定資産の売却による収入	230	203	267
投資有価証券の取得による支出	△ 6,481	△ 666	△ 731
投資有価証券の売却による収入	12	144	663
貸付けによる支出	△ 313	△ 173	△ 200
貸付金の回収による収入	140	138	195
その他の収入又は支出(支出:△)	△ 193	△ 1,458	4,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,300	△ 13,294	△ 13,579
〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 548	4,258	4,500
コマーシャルペーパーの純増減額(減少:△)	14,000	△ 1,000	△ 3,000
長期借入れによる収入	11,400	4,400	4,400
長期借入金の返済による支出	△ 2,712	△ 5,590	△ 10,173
社債の償還による支出	—	△ 200	△ 3,850
配当金の支払額	△ 3,591	△ 2,386	△ 2,597
少数株主への配当金の支払額	△ 460	△ 353	△ 538
その他の収入又は支出(支出:△)	△ 48	△ 63	607
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,038	△ 935	△ 10,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	129	190	109
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 1,527	△ 4,960	△ 2,041
現金及び現金同等物の期首残高	14,104	16,134	16,134
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20	—	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	11
現金及び現金同等物の期末残高	12,596	11,174	14,104

2. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	211,232	46,233	79,283	25,995	9,670	9,838	382,253	—	382,253
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	22,215	505	18,313	921	544	6,260	48,761	(48,761)	—
計	233,447	46,738	97,596	26,917	10,215	16,098	431,015	(48,761)	382,253
営業費用	222,521	46,020	89,959	25,563	8,809	14,749	407,624	(48,732)	358,892
営業利益	10,925	718	7,637	1,354	1,405	1,349	23,390	(29)	23,361

前第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	198,619	38,113	77,946	23,000	8,004	10,582	356,268	—	356,268
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	18,309	582	15,323	1,268	825	7,047	43,357	(43,357)	—
計	216,928	38,696	93,269	24,269	8,830	17,630	399,625	(43,357)	356,268
営業費用	202,325	36,854	85,100	23,512	8,224	16,285	372,304	(43,358)	328,945
営業利益	14,602	1,841	8,169	757	606	1,344	27,321	1	27,322

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	265,628	51,696	104,091	33,892	11,499	13,895	480,703	—	480,703
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	24,846	746	19,950	2,254	1,077	9,637	58,512	(58,512)	—
計	290,474	52,442	124,041	36,147	12,576	23,533	539,216	(58,512)	480,703
営業費用	271,095	49,425	113,164	34,454	11,578	21,954	501,672	(58,511)	443,161
営業利益	19,379	3,016	10,877	1,693	997	1,579	37,543	(1)	37,542

(注) 1. 事業区分の方法

当社企業グループの事業区分の方法は、事業内容別に6部門にセグメンテーションしております。

2. 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	・自動車、産業機械および電気機械向け部品材料、建設用材料、溶接用材料 ・特殊鋼鋼材加工、流通 ・原材料販売 ・運輸、物流
電子・磁性材料	・高合金製品、電気・電子部品用材料、磁材製品（OA・FA用モーター、自動車用モーター・センサ、計測機器用部品等）
自動車部品・産業機械部品	・型鍛造品、熱間精密鍛造品および鋼機製品（自動車、ベアリング向け部品等） ・自由鍛造品（船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品等） ・鋳鋼品（鉄道用マングレル、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等） ・精密鋳造品（自動車・産業機械・電機・通信機器用部品、チタニウム部品等） ・製材用帯鋸 ・エンジンバルブ ・圧縮機器、油圧機器、工作機械部品
エンジニアリング	・鉄鋼設備、各種工業炉ならびにその付帯設備、環境関連設備（排水・排ガス・廃棄物等の処理設備）、工作機械等 ・機械設備の保守管理
新素材	・粉末製品、チタニウム製品、形状記憶合金等 ・開発製品
流通・サービス	・グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業 ・ゴルフ場経営 ・分析事業、アウト外販事業

(2) 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、開示を省略しております。

(3) 海外売上高

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	11,588	33,430	4,855	49,874
II. 連結売上高	—	—	—	382,253
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	3.0 %	8.7 %	1.3 %	13.0 %

前第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	10,412	32,242	2,574	45,229
II. 連結売上高	—	—	—	356,268
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	2.9 %	9.1 %	0.7 %	12.7 %

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	14,324	43,314	3,875	61,514
II. 連結売上高	—	—	—	480,703
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	3.0 %	9.0 %	0.8 %	12.8 %

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) アジア……………台湾、韓国、タイ、マレーシア、中国ほか

(3) その他の地域……………イタリア、イギリス、ドイツほか

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。